

Tower Brace Set

タワーブレースセット No. MGJ481

取扱説明書

AutoExe

A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ タワーブレースセット をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には、本書を必ずお客様にお渡しください。

ご注意 ※当製品の装着に際し、以下の注意事項を厳守してください。

1. 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除く製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対に行わないでください。
2. 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
3. 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ(株)発行の整備解説書を参照に作業を行ってください。
4. 当製品の装着は、下記に記す適合車種欄に記載する車両にのみ行ってください。
5. 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、一切の責任を負いません。

適合車種

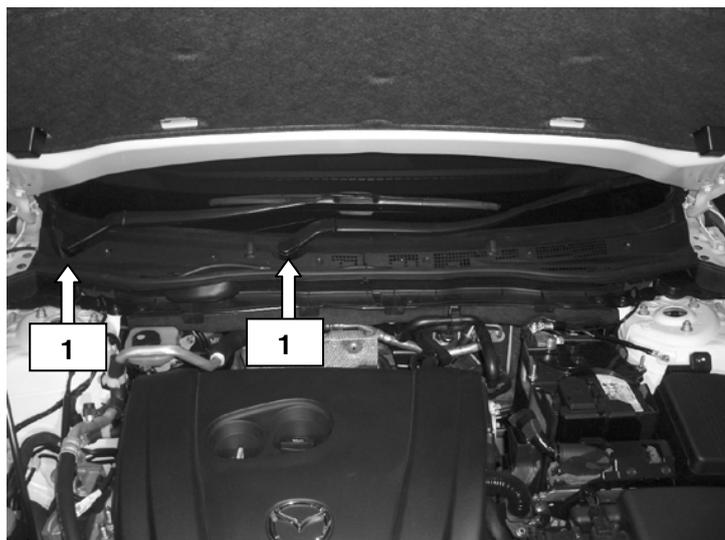
アテンザワゴン (GJ2FW/GJ5FW/GJEFW)

構成部品

No.	品名	仕様	数量
フロントセクション			
1	フロントタワーブレース	スチール製レッド塗装	1
2	フランジナット	M10×P1.25	6
リヤセクション			
3	リヤタワーブラケットアッパー LH	スチール製レッド塗装	1
4	リヤタワーブラケットアッパー RH	スチール製レッド塗装	1
5	リヤタワーブラケットロワー LH	スチール製レッド塗装	1
6	リヤタワーブラケットロワー RH	スチール製レッド塗装	1
7	リヤブリッジバー	スチール製レッド塗装	1
8	ボタンボルト	M8×20	4
9	セムスボルト	M6×20	2
10	スプリングワッシャー	M8対応	4
11	ナット付ステー大	M8対応	1
12	ナット付ステー中	M8対応	1
13	ナット付ステー小	M8対応	2
14	スパイラルチューブ 太		1
15	スパイラルチューブ 細		1
16	タイラップ		4
ブラケット、シャフト接続用			
17	キャップボルト	M10×65 P1.5	4
18	ブレンワッシャー	M10対応	8
19	スプリングワッシャー	M10対応	4
20	袋ナット	M10対応	4

フロントセクション

1. ワイパーアーム左右を取外します。

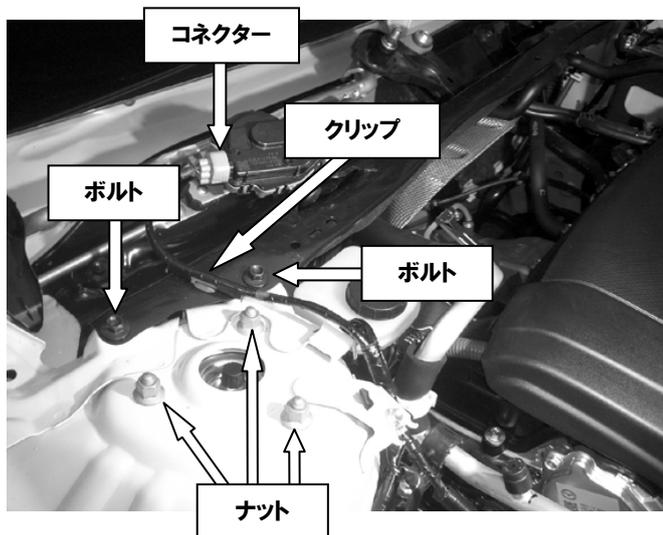


2. 下図を参考に、ウインドウォッシャーホースをチェックバルブから切離した後、ファスナーを取外してカウルグリルを取外します。

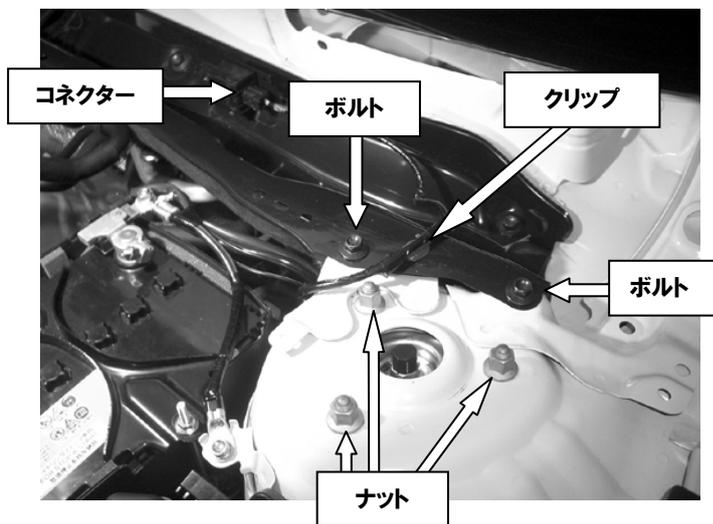


3. ストラットを固定しているナット6個とカウルパネルを固定しているボルト4個、コネクターとクリップを取外します。
(※取外したストラットタワー固定ナットは使用しません。)

運転席側

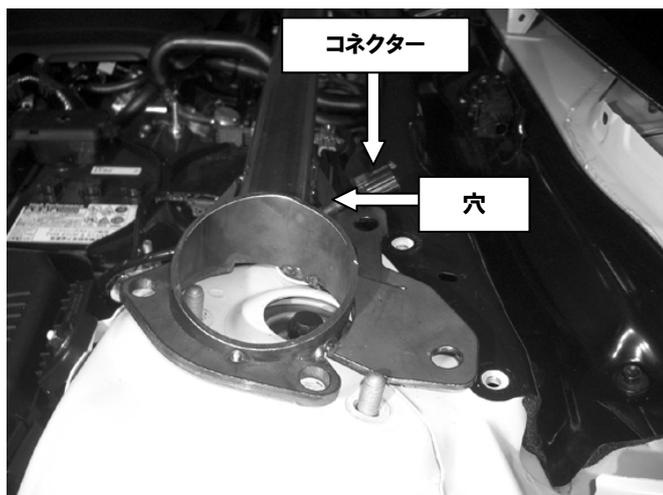


助手席側

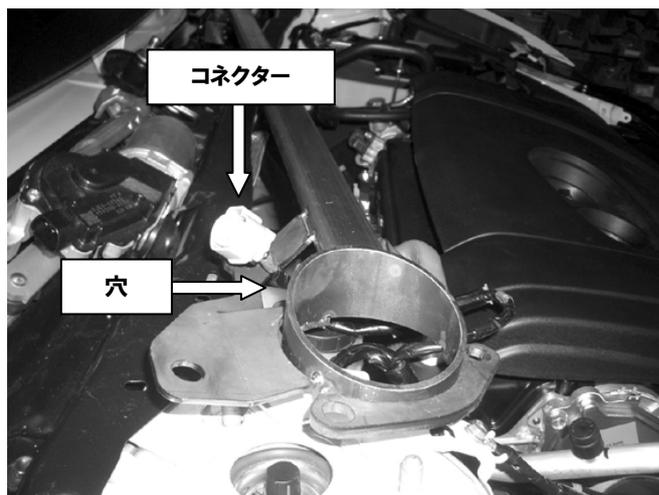


4. 図を参考に、取外したコネクタを①フロントタワーブレースの穴に通します。

運転席側



助手席側

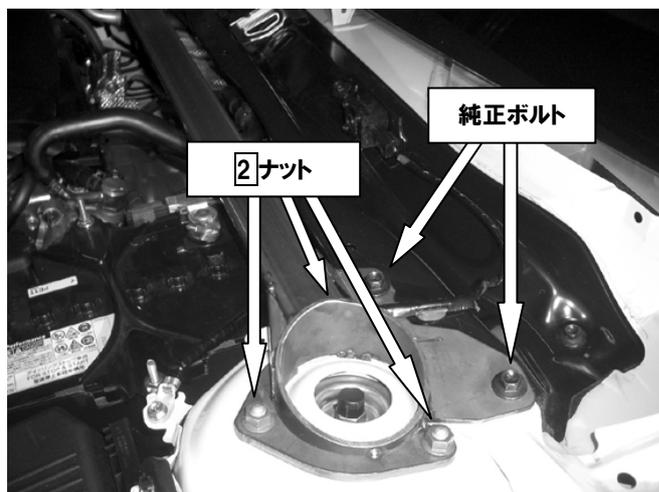


5. ①フロントタワーブレースを、3で取外した純正ボルトと②フランジナットを使用して取付け、コネクタとクリップを元に戻します。
 (締付けトルク:カウルパネル取付けボルト 22~30N・m ②フランジナット 49~59N・m)

運転席側

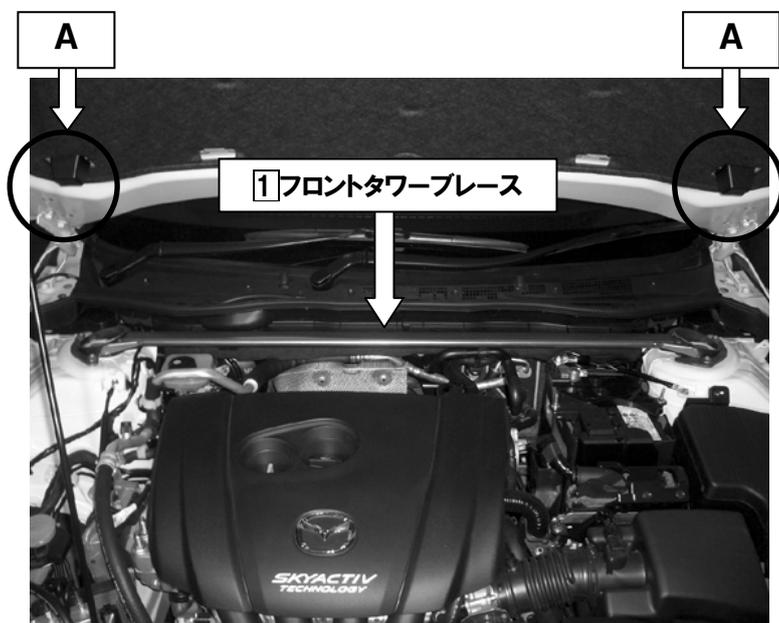


助手席側

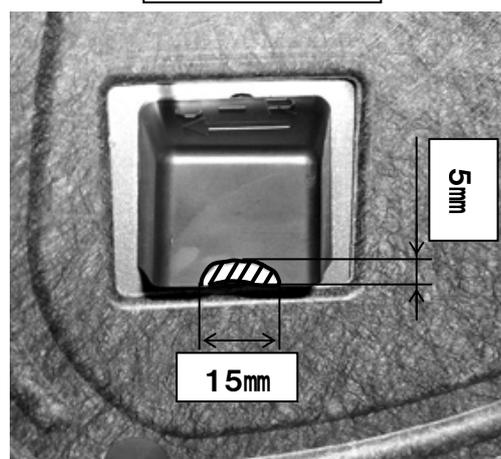


6. カウルグリルとワイパーアーム左右を車両に復元します。

7. 下図を参考に、ボンネット裏側に取付けされているプロテクター(図A部)の斜線部を切除加工してフロントセクションは作業完了です。



A部拡大図

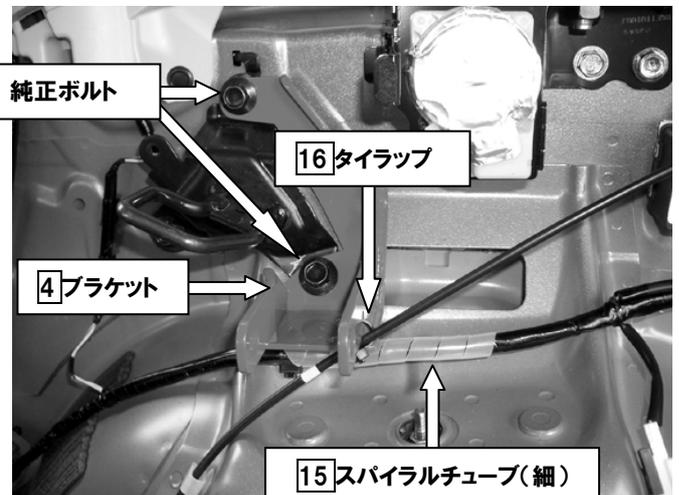
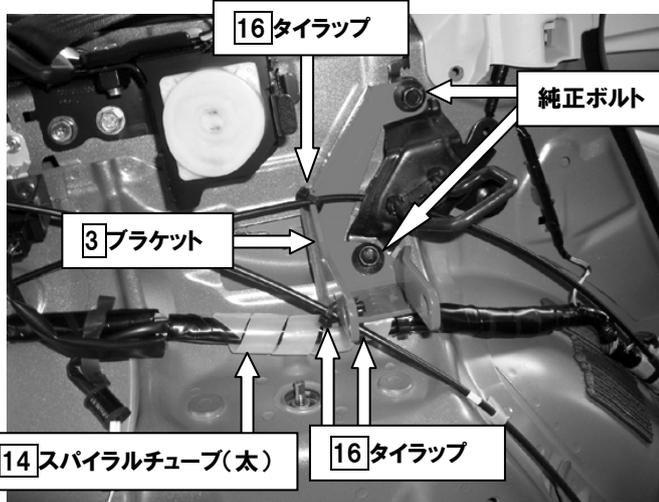


リヤセクション

1. トランクボード、トランクルームサブトランク、トランクサイドポケット左右、トランクサイドトリム左右を取外します。
2. 図を参考に、純正ボルトを使用して③、④リヤタワーブラケットアッパーを仮止めします。
3. 仮止めした ③、④ ブラケットと干渉するハーネスに、助手席側は ⑭ スパイラルチューブ(太)を、運転席側は⑮ スパイラルチューブ(細)を巻き保護します。
4. リヤシートのリクライニングワイヤーとハーネスを ⑯ タイラップで ③、④ ブラケットに固定します。

助手席側

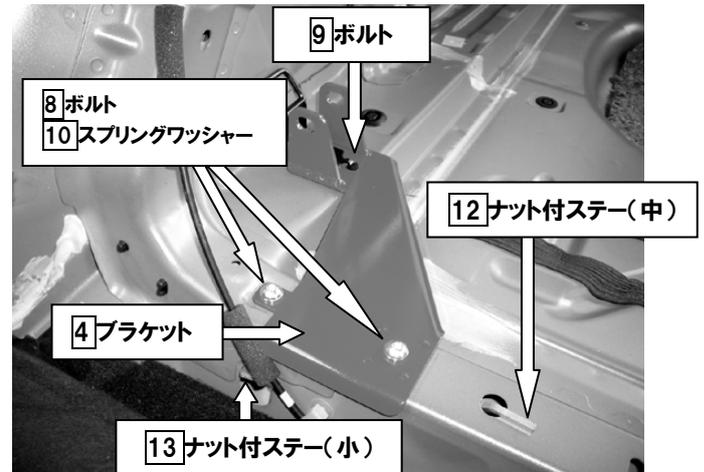
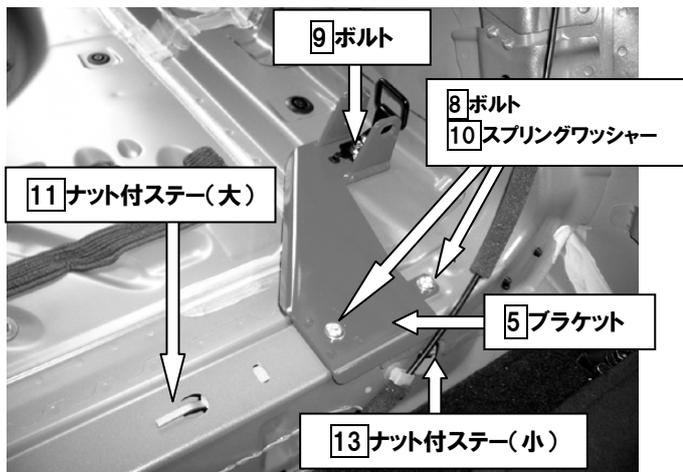
運転席側



5. ⑤、⑥リヤタワーブラケットローワーを ⑧ ボルト、⑩ スプリングワッシャー、⑪、⑫、⑬ ナット付ステー、⑨ ボルトで仮止めします。

助手席側

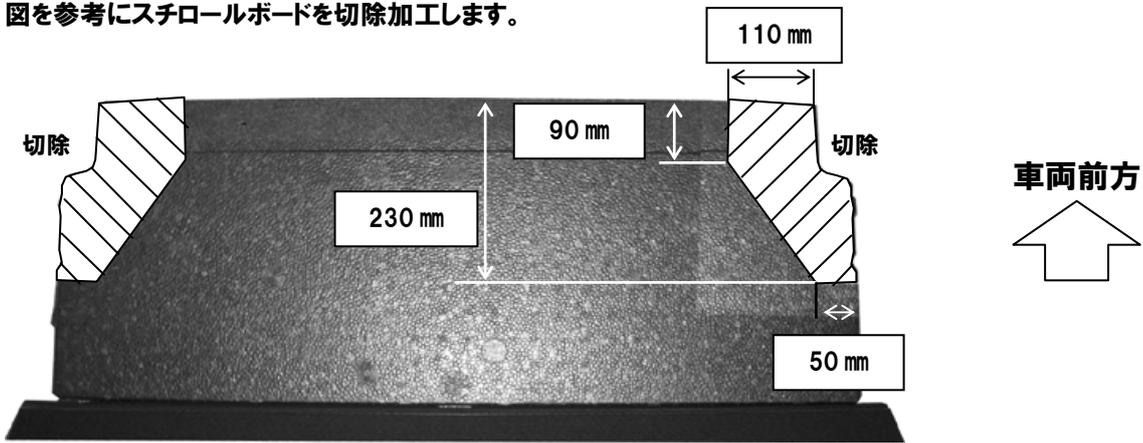
運転席側



6. ⑦リヤブリッジバーを ⑰ ボルト、⑱ ワッシャー、⑲ スプリングワッシャー、⑳ ナットを使用して取付け、各ブラケットの仮止めしたボルトを本締めします。(締めトルク:純正ボルト 37~54N・m ⑧ボルト 24.5N・m ⑨ボルト 10.0N・m)
7. ⑦リヤブリッジバーを一度取外します。

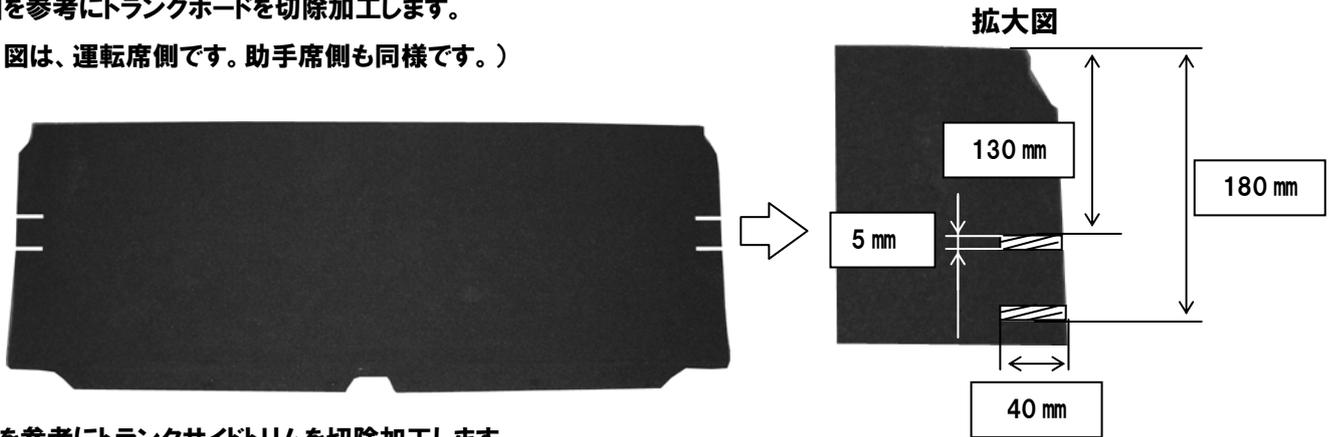


8. 図を参考にスチロールボードを切除加工します。



9. 図を参考にトランクボードを切除加工します。

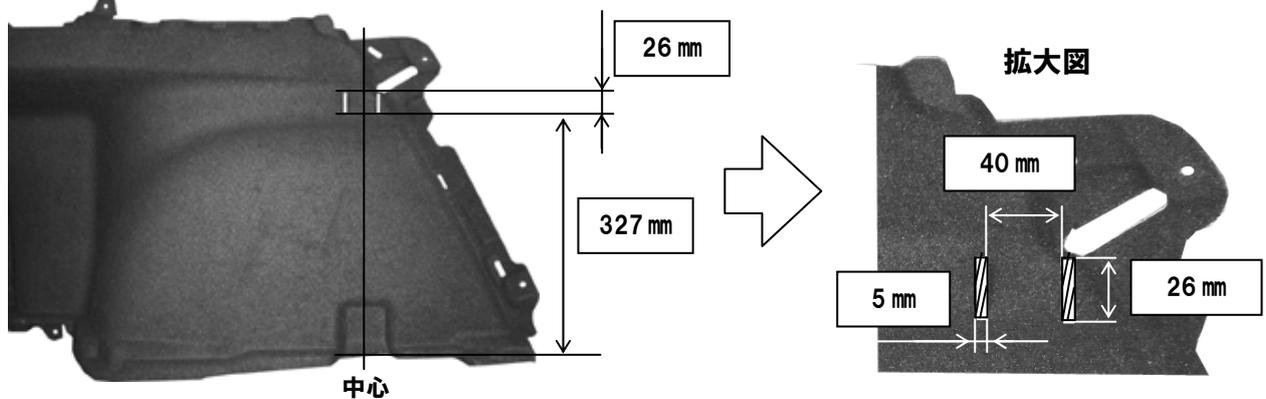
(図は、運転席側です。助手席側も同様です。)



10. 図を参考にトランクサイドトリムを切除加工します。

⚠ 注意 トランクサイドトリムを車両に宛がいブラケットの位置を慎重に確認しながら、切除加工を行ってください。

(図は、助手席側です。運転席側も同様です。)



11. 加工したトランクサイドトリム左右、トランクルームサブトランク、トランクサイドポケット左右、トランクボードを車両に復元します。

12. 7 リヤブリッジバーを再度取付けして作業完了です。(締付けトルク: 純正ボルト 39.2N・m)

